

日本共産党市議団

小野寺幸恵・渡辺 満
工藤 良一・富岡 隆

一般質問

富岡 隆 議員



▼苦小牧駒澤大 学について

京都育英館への移管問題で、文部科学省の認可が保留になったことについて市長の見解を求めました。市長は、「非常に残念」との認識を示し、在学生の立場を守り、積極的に協力したいと答弁がありました。

▼IRについて

世論調査で反対が多数であることや、保育関係者・町内会長・宗教者などの反対の声を紹介し、IR誘致の再考を求めました。市長は、「市民セミナーなどで理解を深めたい」と答弁しました。

また、市民アンケートを実施することを提案しましたが、市民セミナーや出前講座を優先して取り組むとの答弁がありました。

▼核兵器禁止条約について

122カ国が賛同して採択した核兵器禁止条約に日本政府が参加していないことについて、非核平和都市条例を持つ市長の認識を求めました。市長として、「国の立場」など

を説明し、現実的にできることを進めていきたいと答弁しました。

工藤 良一 議員



▼放置波消しブ ロックについて

日本共産党市議団は、平成13年頃から錦岡海岸に放置されている波消しブロックについて、平成26年10月から繰り返し所有者を特定し、有効活用を求めてきましたが、国・道は存在を把握しておらず、調査が進められていません。あらためて調査の進行を質問しました。この波消しブロックは道の所有であり、海岸侵食箇所への活用を検討しているとの答弁がありました。

▼歩くスキーの推進について

冬季の健康増進観点から、アルペンや緑ヶ丘公園を活用し、歩くスキーの推進と用具のレンタルを提案しました。担当部長は、「現状でもアルペンや緑ヶ丘公園で楽しんでいらっしゃる方がおり、現状での活用をお願いしたい」と答弁されました。歩くスキーの用具のレンタルについては、指定管理者と協議・検討するとの答弁がありました。

総合開発特別委員会

渡辺 満 議員



▼オスプレイの 訓練などについて

北海道大演習場(恵庭市)での日米共同訓練で、オスプレイが苦小牧上空を何度か飛行したことについて、市長の姿勢をただし、防衛省への抗議を求めました。市長は、「事実は確認している。北海道防衛局に要請はしているが、上京した際、防衛省に直接要請したい」と答弁しました。

また、北朝鮮によるミサイル発射・核実験について、市から強く抗議することを求めました。

平成28年度決算委員会 一般会計

富岡 隆 議員

▼児童相談所分室設置について

虐待の通報が27年との比較で223件から290件に、虐待認定が127件から221件と増えている実態を示し、「苦小牧の相談件数が圧倒的で待ったなし」と、旧道立病院を活用して児童相談所分室を設置することを強く求めました。市長は、「議員と同じ思いである」と答弁し、29年度中に方向性

が出ることを示されました。

企業・特別会計

小野寺 幸恵 議員



▼国民健康保険 会計

28年度の剰余金が4億4千万円(27年度1億5千万円)だったことについて、市立病院で国保加入者の受診数が減少している実態を示して質問し、被保険者の実態把握を求めました。

また、28年度の実績が30年度からの都道府県化のデータになることから、保険税率の見直しについて質問し、「収支バランスを勘案し、イコールに近い税率にしたい」と答弁しました。

▼介護保険会計

特別養護老人ホームの待機者がいるにも関わらず、68床が空いていることについて質問し、職員不足が要因であることが明らかになりました。この現状に対し、介護保険制度そのものに問題があることを指摘し、国に抜本的な改正を求めることを提案しました。市長は、「ほかの自治体がどんな悩みを持っているかを聞き、国に声をあげていきたい」と答弁しました。